

作成日：2026年 3月 14日（第1版）

西暦 2005年 1月～2022年 12月にユーイング肉腫と診断された方へ
「初診時治療状況に基づいたユーイング肉腫の予後の解析」へのご協力をお願い

1 研究の概要

【研究の背景・目的】

ユーイング肉腫（Ewing sarcoma）は、主に子供や若者に発生する、骨や軟部組織のがんで、小児の悪性腫瘍の約2%を占めます。診断後に化学療法を行い、腫瘍を縮小させた後に手術を行うことが標準的な治療方法です。ユーイング肉腫は、全身のさまざまな部位から発生する可能性があるため、特殊な部位に発生した場合、他の腫瘍と誤診されることがあります。しっかりと診断される前に切除を受けることで腫瘍が残ったり、手術により播種したりすることが、治療の問題点と考えられます。

この研究では、ユーイング肉腫の初診時の治療状況に注目し、診断前に切除を受けた場合の予後への影響を分析することを目的としています。

【研究の対象となる方】

2005年 1月～2022年 12月に当院を受診し、ユーイング肉腫と診断された患者さんを対象とします。

【研究期間】

この研究の実施を許可された日から西暦 2027年 12月 31日まで

ご自身またはご家族がこの研究の対象者に該当すると思われる方で、ご質問等がある場合は、「7 相談やお問合せがある場合の連絡先」へご連絡ください。また、情報をこの研究に使ってほしくない場合もご連絡ください。その時点であなたの情報を研究対象から取り除きます。ただし、研究の進捗状況によっては、あなたの情報を取り除くことができない場合があります。

この研究は、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け承認されたうえで、研究機関の長から実施の許可を受けています。また、この研究が適正に実施されているか、継続して審査を受けます。

この委員会にかかわる規程等は、以下の Web サイトでご確認いただけます。

【名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター “患者の皆さまへ”】

URL : <https://ncu-cr.jp/patient>

2 研究の方法

この研究では、初診時の治療状況を分析し、診断前に切除を受けた患者とそうでない患者の二つのグループに分けて、生存に与える影響を調べます。

主要な評価項目は全生存期間で、副次的な評価項目は無遠隔転移生存期間と局所制御率とします。診断前切除の有無に基づいて二群に分け、統計解析を行い、診断前の切除が評価項目にどのような影響を与えるかを評価します。

評価項目は以下の通りです：

主要評価項目：全生存期間（研究機関での初診からの生存日数）

副次評価項目：

無遠隔転移生存期間（根治的切除後から遠隔転移が出現するまでの日数）

局所制御率（根治的切除後に局所再発が起きた割合）

この研究では、研究対象の方の診療情報を電子カルテから収集して利用します。共同研究機関において収集した情報は、REDCap（研究データの収集・管理システム）により研究代表機関である名古屋市立大学に提供します。名古屋市立大学においてデータを取りまとめ、統計解析を行います。提供された情報は、名古屋市立大学が責任を持って管理します。

3 この研究で用いるあなたの情報の内容について

この研究では、以下の診療情報を利用します。

背景情報：年齢、性別、身長・体重、現病歴、既往歴、家族歴、遠隔転移の有無および部位

原発情報：原発巣の部位、大きさ、臨床症状

初診時の状況：他院での治療歴（生検の有無、切除の有無、化学療法の有無、腫瘍残存の有無）

薬物療法に関する治療歴：治療薬、投与量、治療開始日、治療終了日、施行回数

手術に関する情報：切除方法、再建方法、根治度、合併症の有無

画像検査所見：初回化学療法の最良効果判定

病理学的所見：腫瘍壊死率、切除マージン

治療経過：初回遠隔転移の有無・発生日、初回遠隔転移発生時の症状、初回局所再発の有無・発生日、最終観察時の状況

4 研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学を中心として、複数の研究機関が共同で実施します。実施体制は以下の通りです。

	研究機関の名称	研究責任者
研究代表機関	名古屋市立大学	相羽 久輝 (研究代表者)
共同研究期間	国立がん研究センター中央病院	米盛 勸
	三重大学医学部附属病院	中村 知樹
	福島県立医科大学	松本 嘉寛
	金沢大学	三輪 真嗣
	奈良県立医科大学	塚本 真治
	岡山大学	中田 英二
	九州大学病院	横山 信彦

5 個人情報等の取り扱いについて

あなたの情報は、氏名等の個人を特定する内容を削除し、代わりに符号をつけた状態で取り扱います。あなたの氏名等とこの符号とを結びつける対応表は、あなたの情報を頂いた各機関で厳重に管理し、個人を特定する情報を外部に提供することはありません。また、この研究の成果を学術雑誌や学会で発表する際も、そこに含まれるデータがあなたのものであると特定されることはありません。

6 この研究の資金源および利益相反について

企業等の関与により研究の公正さが損なわれる可能性がある状態のことを、「利益相反」といいます。企業等から研究資金の提供を受けている場合等には、利益相反を適切に管理する必要があります。

この研究は特に資金源を必要とせず、企業等からの資金の提供はありません。利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。また、共同研究機関においても各機関の規程に従い、適切に対応しています。

7 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究の計画について詳しくお知りになりたい場合は、研究に参加している他の方の個人情報や研究の知的財産等に影響しない範囲で、資料をお渡ししたり、お見せしたりすることが可能です。

また、この研究にあなたの情報が利用されることや、他の研究機関へ提供されることを希望されない場合は、電話によりご連絡ください。

【連絡先】

名古屋市立大学大学院医学研究科整形外科学

電話番号： 052-853-8236

(対応可能な時間帯) 平日 9時から 17時まで

対応者： 相羽久輝

【研究代表機関】

研究機関名： 名古屋市立大学大学院医学研究科

研究代表者： 整形外科学 相羽久輝

連絡先： 052-853-8236